

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	1
事業名	環境衛生経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	4
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-1-2 自然環境の保全				
主要施策	①環境保全意識の高揚		②環境保全活動の促進		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 町内における環境測定結果の報告及び「桑名・員弁広域環境基本計画」の内容を協議するため、東員町環境審議会を開催する。 町内の環境美化運動を実施した団体に報償金を交付するなど、まちづくりの美化活動が活発に行われるよう継続して支援する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B					2,663	6,315	5,592		
財源内訳	直接事業費 A				2,663	3,939	3,216		
	うち一般財源				2,663	3,939	3,216		
人件費 (千円) B					0	2,376	2,376		
内訳	一般職員 (人・千円)				0	0.36	2376	0.36	2376
	臨時職員 (人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	役場主導でなく、クリーン作戦委員会が自ら自立して活動できるよう努めていく。
②R1年度に実施した取り組み	三和小においてパッカー車の仕事と仕組み・3Rについて、環境子ども特別教室を実施。地域の環境美化向上・不法投棄等禁止啓発運動として、環境美化デーごみゼロ運動。ごみ分別啓発活動として商工祭、わくわくフェスタに参加。資源の有効活用として東員フリーマーケットを実施。桑名広域清掃事業組合新ごみ処理施設視察及び食品ロス勉強会の実施。	④今後の改善計画	第14次の委員で1年経過しましたが、第13次の継続であるため、クリーン作戦委員会による出前講座や環境学習教室の実施に向け方策等を検討する。